



メキシコ・日本アミーゴ会設立 15 周年記念

15 歳のメキシコ・日本アミーゴ会 誕生のエピソード

アミーゴ会副会長 鴻巣 勝明

アミーゴ会の HP を見ると、誕生のいきさつが西暦 2000 年に設立されたとしか書かれていません。設立 15 周年にあたり、その誕生に関わった忘れられない、今は故人になられたお二人が居られますので、この機会に是非皆さんにもお伝えしておきましょう。一人は利光松男さんでアミーゴ会初代会長です。もうお一人は初代事務局長の仲村聡さんです。

大学 6 年生メキシコへ

1966 年 8 月に羽田空港で、私はメキシコから到着したばかりの利光さんから面接を受けました。当時私は大学の 6 年生で週に 3 時間だけ授業に出ていました。それまでにマドリッド大学に短期留学をしたのを契機に一年づつ休学をして二回世界旅行をしましたので、あっという間に 6 年生のモサになっていたのです。当時のメキシコには利光さん、仲村さんを含め同窓の先輩や同僚が既に駐在していましたので、スペイン語が出来るスタッフを探しておられた仲村さんにアミーゴ達が私を推薦して呉れたのだそうです。

利光さんは当時日本航空メキシコ支店長でしたが、その後日本航空の社長になられた方です。面接はいとも簡単で、「君は麻雀はやるかね?」「寿司をにぎれるそうだが?」—これだけで合格。そして面接の一週間後には、私は利光さんと一緒にメキシコ行の機内にいました。利光さんはメキシコ支店次席の仲村さんから私の事をすでにいろいろ聞いておられていたそうです。

1972 年直行便就航、1987 年ホテル閉業

利光さんは当時ロス迄であった JAL 便をメキシコまで飛ばすと言う雄大な構想をお持ちでしたので、その実現にはスタッフを増員し営業実績を上げて本社を説得する必要があったのです。それからは支店の方々と一丸となって努力した結果、6 年後の 1972 年に直行便が実現しました。

翌 1973 年にはジャンボ機が就航しましたが、利光さん仲村さんも既に日本に帰国された事もあり、私は日本航空の肝いりで 1968 年にメキシコに設立した旅行会社 ((株)メキシコ観光) に入社しました。

そして 1987 年には日墨共同出資のシンボルとも言える「ホテル日航メキシコ」が開業しましたが、何と日本航空を既に退職された利光さんがホテルの日本側出資会社「日墨ホテル投資会社 JAMEX」の社長に就任されたのです。又日本に帰任された仲村さんも「ホテル日航メキシコ」に戻られていましたので、利光さんが出張でメキシコに来られた際には、三人で大いにテキーラで再会を祝ったものです。

テキーラが生んだアミーゴ会

さて「ホテル日航メキシコ」は日本人の予約を取るのが大変難しい程順調に好成績を残し、1997 年には日墨両国のゲスト多数を迎えて開業 10 周年記念パーティーが盛大に行われました。その際には当然利光さんも来られて、いつもの様にプライベートなテキーラ宴が開かれました。今から思えばその宴の場がアミーゴ会の発端とも言えるでしょう。(次頁へ)

= 目次 =

- | | | | |
|---|----------------|------|------|
| 1. 設立 15 周年: 「15 歳のアミーゴ会 誕生のエピソード」 | アミーゴ会副会長 | 鴻巣勝明 | ...1 |
| 3. 活動報告: 「アミーゴ会 2015 年度総会・懇親会の報告」 | アミーゴ会事務局 | | ...3 |
| 4. 活動報告: 「サボテン群仙園の復興報告」 | 群仙園園主 | 島田明彦 | ...4 |
| 5. 私とメキシコ: 「メキシコ市“大平正芳公園”の修復開園」 | 在メキシコ会員 | 森脇音可 | ...5 |
| 6. 私とメキシコ: 「カマラ 2014 年度業務報告」 | 日本メキシコ商工会議所前会頭 | 石松康司 | ...6 |
| 7. メキシコへの誘い: 「レフォルマに並ぶ歴史の銅像でたどる偉人案内(最終回)」 | メキシコ観光(メキシコ) | | ...7 |
| 8. お知らせ: 「グワナファト州紹介展@広島県美術館」「キューバへの誘い」...2/ 「Cinco de Mayo in 駒沢」 | | | ...4 |

その時のテキーラの勢いが私に言わせた、利光さんとの会話を思い出すままに記してみます。
「ホテル日航はいつも一杯で部屋が取れないと言う、進出企業のお客さんから苦情がありますよ」「出資会社の予約が取れないとはけしからんとも言われます」「この分だと日航は大変儲かっているに違いないと言う声も出ています」「出資会社への配当は行われているのですか」「行われていないとすると、日本に帰られた駐在員から配当のクレームが来ませんか」「今世界の企業にはメナセとかいう社会還元が流行っているので JAMEX もやられてはどうですか」

「日本には外国とつながる何とか協会が色々ありますが、メキシコとは未だ無いのは残念です」

メキシコと日本で双子が誕生

日本に帰られた利光さんは早速、既に完全に日航から退職されていた仲村さんを事務局長にお呼びして、JAMEX 内にデスクを置いて下さり、ここに「メキシコ・日本アミーゴ会」の一步が始まりました。

アミーゴ会のこの日本名はメキシコに現存する「La Asociación de Amigos México-Japón A.C.」の日本語訳ですが、実はアミーゴ会の第一子はメキシコで誕生したのです。メキシコの著名人がかつ日本と関わりが有った方々を発起人としてお願いし、会員は JICA 研修で日本に行かれた経験者をメインとしました。このメキシコの兄弟は 1999 年に誕生しておりますが、誕生パーティーは当然「ホテル日航メキシコ」で日本国大使をもご招待した立派なご披露を JAMEX にして頂きました。

そして今度は日本の私たちの「アミーゴ会」の番ですが、その準備には仲村さんが大変な努力をされました。メキシコにいる私にも発起人の推薦や候補会員への招待状等相談を受けましたが、実際にアミーゴ会が生まれると言う喜びは日々強まって行きました。

2000 年 9 月 18 日、誕生パーティ

2000 年、21 世紀の始まりの年の 9 月 18 日にお台場のホテル日航で、「メキシコ・日本アミーゴ会」の誕生パーティーが盛大に開かれました。「ためしてガッテン」の志の輔さんも来られたのをよく覚えております。私もメキシコから馳せ参じて日本に帰られた沢山のアミーゴの方々との再会の喜びを分かち合い、以降は毎年日本への出張はアミーゴ会の総会に合せるのが習慣になりました。

残念ながら今は JAL の直行便も無くなり、ホテル日航もハイアットと変わって寂しい限りです。私にとっては両翼を剥ぎ取られた気持ちですが、JAL とのご縁で誕生したアミーゴ会が今年 15 歳を迎え、昔のメキシコ話が出るアミーゴが未だまだ沢山居られるのは無上の喜びです。懇親会だけでも、年にもう一度やりたいなどと思う昨今です。 (了)

お知らせ

グアナファト州紹介展@広島県立美術館

～グアナファト・広島友好の掛け橋：11653km～

グアナファト州の文化や産業を紹介する企画展が、広島県立美術館(広島市中区)の地階ロビーで開催中。入場無料で会期は6月7日まで。同州にはマツダをはじめ広島県内有力企業が多数進出して交流が活発化している。広島県と同州は2014年11月、教育、文化、観光など幅広いジャンルの相互理解を促進しようと友好提携を締結しており、企画展はこれを記念したもの。展示品は伝統的な色絵陶器や木製玩具、特産の銀を使った宝飾品など計51点とのこと。

☆広島県立美術館ウェブ:

<http://www.hpam.jp/event/index.php?mode=schedule&selectDay=2015-1#733>

☆広島県とグアナファト州の経済交流に関する覚書:

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/77/mexico-guanajuato.html>

☆広島県とグアナファト州の友好提携:

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/38/hiroshima-guanajuato-friendship-agreement.html>

キューバへの誘い

キューバの今を旅しよう

会員(メキシコ観光) 磯辺厚子

昨年12月にアメリカとの国交正常化交渉開始という報道があつて、にわかに注目を浴びているキューバ。アメリカとの国交が回復すれば良い意味でも悪い意味でも急速な変化が予想されます。早いうちに今あるキ

ューバの姿を目に焼き付けてきてはいかがでしょうか? 急げ! キューバへ!

キューバは観光地を巡るよりも、自分の足で歩いてその息吹を感じ取るのがふさわしい国と言えます。ハバナ旧市街一の目抜き通りオビスポ通りを歩くと、レストランから生演奏が聞こえてきたり陽気に踊る人が目に飛び込んで来たりして思わず心がウキウキします。



青空に映えるカトリックや白亜のカピトリオ、庭に戦車が展示されている革命博物館、チェ・ゲバラの大きな肖像が掛かる内務省と革命広場などの見所がハバナには目白押し。ヘミングウェイが通った酒場フロリディータやラ・ボデギータ・デル・メディオ、定宿だったアンボスムンドス等のゆかりの場所を尋ねるのも楽しみです。旧市街のセスペデス公園には2001年に建てられた支倉常長の銅像があります。

キューバ旅行で今一番のネックはハバナのホテル予約が取りづらいことです。元々ホテル数が少なく、特に最近注目度が高いせいか慢性的な部屋不足状態です。ホテル予約が取れない時はカサ・パルティクラール(民宿)を自身でインターネット予約する羽目になります。計画を立てる時はお早めに!

日本からのアクセスはエアカナダが便利で、トロントで同日乗換が出来ます(毎日運航)。詳細は下記(株)メキシコ観光のホームページをご覧ください。

⇒<http://www.pasela.mexicokanko.co.jp/>

<了>

2015年度アミーゴ会総会・懇親会の報告

メキシコ・日本アミーゴ会 事務局

2015年度総会は懇親会を兼ねて3月14日(土)12時より昨年と同じ銀座のZEST CANTINAにて開催され、西村六善元大使、黒沼ユリ子さんご夫妻、御宿からは土屋武彌さん等総勢70名の会員が出席され、懇親会にはメキシコ大使館からロペス総領事にもお出で頂きました。



決算・予算を承認

先ず総会に就きましては、上原会長の挨拶のあと、笠井事務局長より2014年度決算報告があり、下記の通り2014年度決算は収入466,127円に対し、支出604,810円と138,683円の支出増で、次期繰越額が2,367,101円となりました。この決算につきましては

2014年度決算(H26/1/1~H26/12/31)

収 入	12/31 実績	
会費収入	(単位:円)	
銀行(57名)	171,000	
郵貯(11名)	66,000	
[小計]	[237,000]	
懇親会収入(会費)	192,000	
広告料	37,000	
その他(受取金利)	127	
収 入 計	466,127	
支 出	12/31 実績	
懇親会費用	166,000	銀座ZESTとの取決め
講演会	80,000	講師謝金(20,000x4人)
リセオ・ホームステイ補助	0	ホームステイ出来ず、使わず
ゴルフ交流会補助	50,000	12/8 湘南カントリー倶楽部
フィエスタ・メヒカーナ補助	54,000	9/13-15 お台場開催
通信費・郵便料	0	注:小口で支出
事務所コピー代	80,717	事務所コピー機(特別)
事務費・HP維持	15,600	ケイブ(株)システム保守委託
交通費	28,570	西日本総会出席(鴻巣幹事)
幹事会 会場費	9,000	会場費3回分
西日本幹事会総会	23,000	総会時演奏費
編集取材・交通費	20,000	会報編集関連/幹事会合意
小口現金	73,519	詳細は別表
振込み手数料	4,404	
支 出 計	604,810	

南郷監査役の監査報告があり賛成多数で承認されました。2015年度の予算につきましても、下記の内容で承認されました。

2015年度予算(H27/1/1~H27/12/31) (単位:円)

収 入	予 算	支 出	予 算
会費収入(150名予定)		懇親会費用	300,000
銀行	360,000	講演会	80,000
郵貯	90,000	リセオ・ホームステイ補助	45,000
小計	450,000	ゴルフ交流会補助	50,000
懇親会参加費	320,000	フィエスタ・メヒカーナ補助	54,000
広告料	50,000	事務費・HP維持	15,000
その他(受取金利)	0	交通費(28,000x1)	28,000
収 入 計	820,000	幹事会費用	32,000
		編集取材・交通費	20,000
収 入 計	820,000	小口現金	70,000
支 出 計	699,000	振込み手数料	5,000
年間収支	121,000	支 出 計	699,000

事業予定: 講演会・ホームステイ

次いで報告事項に入り、本年度開催予定の歴史文化講演会について担当の森幹事より9月頃実施を目途に新たな試みも検討中故ご期待頂きたいとの説明がありました。

また事務局長より、例年行って来たLICEO(日墨学院)のメキシコ・コース高校生のホームステイについて、昨年は遺憾ながら参加する全生徒を受け入れるだけの家庭が見つからず、残念乍らLICEO側の期待に応える事が出来なかったことが報告されました。このホームステイはメキシコの高校生に日本の家庭的な雰囲気味わって貰い、日本への理解を深めて貰う上で大変貴重な機会なので、今年は是非とも実施致したく、受け入れ家庭の確保に会員の皆さんの絶大なご支援とご協力をお願い致しますとの要請がありました。

一方、昨年2月の大雪で大きな被害を蒙った会員の島田明彦さん経営の群馬サボテン群仙園に対し、アミーゴ会の昨年総会で参加者の皆さんから復興資金の一助にと約7万円余のご寄付を頂きましたが、その後の復興の状況を見て来られた蔵野佳好子会員から現状のご報告を頂きました(別項参照)。現地ボランティアの方々の協力も得て、既にビニールハウス一棟が完成し、徐々に増設も進んで居るとの事でした。

中嶋副会長退任の報告

処で昨年5月に一身上の都合で中嶋副会長が副会長を退任されました。会則では幹事の人事は総会で承認を受ける必要がありますが、会長、副会長人事は幹事の互選ですので総会に諮る必要ありません。しかし、中嶋副会長の場合は副会長と同時に幹事も退任されたので総会で報告の必要があったと考えられます。手違いで今年の総会でも報告せず申し訳ありませんでしたが、遅ればせながら此処にご報告申し上げますので何卒ご

決 算		期末の状態	
当期収支差	-138,683	現金	13,481
25年度残高	2,492,303	銀行残高	687,572
現金繰越	13,481	郵貯残高	1,666,048
次期繰越額	2,367,101	計	2,367,101

小口現金明細	金額(円)	備 考
小口現金	87,000	銀行引落3回計
幹事交通費	2,878	事務局鎌倉往復他
通信費・郵送料	10,559	アミーゴ会便り発送・葉書代
事務用品費	13,272	インク代、のり・封筒・紙代
会議食他	15,525	幹事会弁当代・総会場所調査費他
講師食事代	17,372	4回分講師食費(食事提供)
講演会資料コピー代	11,913	講演会配布資料コピー代
箕面友の会協力費	2,000	幹事会同意の協賛金送金
支出合計	73,519	
残 高	13,481	=87,000-73,519

了承の程お願い致します。

テキーラで和気あいあい

総会後の懇親会は鴻巣副会長の司会で、先ず昨年末からの新規会員7名の紹介がありました。次いで今回の総会・懇親会には、丁度日本滞在中だったアミーゴ会メキシコ代表の遠藤滋哉さんも出席されメキシコの現状についてお話を伺う予定だった処、遠藤さん達が各方面に働き掛けて実現したメキシコ市の大平正芳公園の改修が無事に終わり、その記念開園式が3月12日に行われる事になって急遽帰国せざるを得なくなり(別項参照)、遠藤さんも残念がって居られたとの説明がありました。

また、今回の懇親会にはテキーラ輸入業者による試飲キャンペーンも行われ、皆さん美味しいテキーラで杯を傾けながら終了の2時半まで親しく懇談され、また来年の再会を期して散会となりました。 <了>

【編集部：会場でのスナップ写真です。肖像権不問。】



上原会長 ロペス総領事 南郷監査役



笠井事務局長 森幹事 蔵野会員



はずむ談笑 黒沼会員 テキーラをどうぞ



さぼてん群仙園の復興報告

会員・園主 島田 明彦

昨年は、アミーゴ会の皆様よりご支援頂きまして有難うございます。おかげさまで地元のボランティアの方たちの助けもあり、ハウスの中のサボテンを新しく建てた第一弾のハウスに移すことができ、古いハウスを撤去する作業にとりかかる段階となりました。

植物を育てるのも含めるとまだまだ完全な復興までは6年程度の年月が必要ですが、少しは明るい気持ちで多肉植物たちと春を迎えることができそうです。

本当に有難うございました！



昨年の被害状況



2015年2月現在：中ものは全て移動



新しいハウス第一弾



新しいハウスに多肉植物を移動

お知らせ

“Cinco de Mayo” in 駒沢公園

～5月9日(土)・10日(日) 10:00～20:00～

今年も駒沢オリンピック公園で「第2回シンコ・デ・マヨ in 駒沢オリンピック公園」が開催されます。

メキシコからアーティストが来日。ロテリア大会やピニャータ割り、メキシカンダンス、おいしいお料理と、メキシコの伝統と文化を大事にした催事が盛りだくさんです！ぜひ足を運んでみて下さい。

☆日時:2015年5月9日(土)～10日(日) 10:00～20:00

☆場所:世田谷区 駒沢オリンピック公園 中央広場

<了>



マサヨシ・オオヒラ公園が大規模改修工事を経て復活！

在メキシコ会員 森脇音可

心ない不良グループによって公園の象徴的存在だったパゴダ（仏塔）が焼かれたり、長年のメンテナンス不足で老朽化が進み、ゴミの散乱が目立つ寂れた状態で久しく放置されていたメキシコ市コヨアカン区カントリークラブ地区にあるマサヨシ・オオヒラ公園（大平正芳公園）が、メキシコ日系社会有志や日墨協会、日本国大使館の働きかけにより、地元住民とコヨアカン区の支援・協力を経て蘇りました！

3月12日に開かれた再オープン記念式典には、山田彰大使、清水享公使をはじめ、大平正芳記念財団の大平知範理事ならびに及川正通事務局長、日墨協会から



は戸田眞会長らの役員、修復実現のために奔走された鈴木松男氏（ミカドグループ会長）、メキシコ-日本アミーゴ会のメキシコ代表を務める遠藤滋哉氏、メキシコ側からはコヨアカン区の幹部職員や地域自治会長、住民代表のみなさんが多数出席されました。コヨアカン区を代表し、区画整理責任者サルバドール・フラウスト・ナバロ氏が修復プロジェクトの経緯・概要と関



係各位に対する謝意を述べた後、山田大使が自らの挨拶に続いて日本メキシコ友好国会議員連盟会長を務める中曾根弘文議員の祝辞を代読し、浜田恵造香川県知事のスペイン訳祝辞を司会者が披露しました。

1980年5月初旬のメキシコ公式訪問からわずか1ヶ月後に満70歳で亡くなられた大平元総理のお孫さんにあたる知範氏は、今回が初来墨。同氏のスピーチの中で、奇しくも3月12日は大平元首相の誕生日で、今年で生誕105周年にあたる事が明かされるとともに、「この日に孫である私が、このような祖父に縁のある地で皆々様に迎えられ、感謝の意を表せられることを、祖父も天国で厚く御礼を申し上げていることと思います」と語られると、会場に詰めかけた大勢の市民から温かい拍手が沸き起こりました。



なお、式典後は記念プレートの除幕式ならびに日墨協会から寄贈された桜の木（計30本）の植樹式が、日墨協会の庭園を半世紀もの長きにわたって守り続けている造園技師の小木曾貞義氏とコヨアカン区元公園局長の東信行氏の立ち会いのもと行われました。



大手レフォルマ紙をはじめ複数のメディアが取材に訪れ、楽団による軽快な生演奏も盛り込まれた同式典に参列した地元住民の中には、終了後、日本人関係者に

「グラシアス！」と声をかけたり、自分がいかに日本という国を尊敬し、この公園に深い愛着を抱いているかを熱く語る方もいました。

広さ2,800㎡、鳥居や橋の塗り替えはもちろん、かつてアヒルも飼育されていたという池に再びきれいな水が張られ、照明設備や植木も一新された同公園は、大平元首相の前述のメキシコ訪問を記念して同首相の名前に改名されました。ちなみに、大平元首相の公式訪問の翌年（1981年）にメキシコ政府の発案で設立された日墨友好基金（大平基金）は、書籍出版や両国の芸術家による作品展、各種イベントの開催など、これまで数多くの日墨文化交流事業の助成を行っています。



[編集部注：大平正芳公園の荒廃ぶりと修復への熱い思いについては本誌第18号(2014年4月)で、メキシコ代表の遠藤滋哉会員より報告済みです。このほど日墨双方の関係者の尽力によって見事復活した様子を写真と一緒に、メキシコで編集者として活躍中の森脇音可さんに伝えてもらいました。]

最近のカマラの活動

(メキシコ日本商工会議所)

～2014年度(2014年2月～2015年1月)業務報告より～

カマラ 2014 年度会頭 石松康司

[メキシコ日本商工会議所(カマラ)は昨年、設立 50 周年を迎えました。その 50 年の歴史の中で、石松康司さんのように会頭を 4 期連続で務められたことは嘗てありませんでした。任期最後の 2015 年 1 月総会での石松会頭の業務報告をカマラ理事会の許可を得て転載します。石松さんよりは別の機会にご苦勞の一端を直接お聞きできることを期待しますが、最近のカマラの活動と日本企業の動向を理解するためにもご一読ください。また、カマラ会則に従い石松前会頭は更にもう一年、副会頭を務められるとのこと。]

2014 年はカマラ創立 50 周年の記念すべき年でしたが、日墨関係においても非常に意義のある年となりました。先ず安倍首相の、首相としては 10 年振りのメキシコ訪問が 7 月に行われ、更に支倉常長来墨 400 周年の 2 年目にあたり日本が招待国となったセルバンテール国際芸術祭が 10 月にグアナフアトで開催され、秋篠宮様が開会式に御臨席されました。

メキシコ全般の状況としては、エネルギー改革の進展に伴い新興国の中でも今後特に成長が期待される国として世界からも注目されるようになりました。特に今やメキシコを代表する産業となった自動車はその生産台数が 320 万台を超えて世界 7 位となつてその勢いはまだ続いております。またその自動車産業を中心とした日系企業の進出も引続き大変盛んで、カマラの会員も更に 66 社増えて 2014 年末には 367 社となりました。他方国内経済の低迷は引続き続いており、またミチョアカン州をはじめとした麻薬団抗争やゲレロ州等での 43 名の学生の殺害事件が起こるなどまだまだメキシコには課題も多い事を再認識させられた年でもあったと思います。

2014 年のカマラの活動ですが、まず従来からの経済・政治などの情報提供活動、ビジ環*に代表される対外活動、更に会員相互の懇親活動については今年も充実したものが行われました。その詳細については、各委員会の報告をご参照頂きたいと思ひます。

*編集部注：ビジネス環境整備委員会のこと。日本メキシコ経済連携協定(日墨 EPA)に基づく日墨官民合同会議。

加えて今年には 50 周年記念行事の実施、増え続ける会員、特に首都圏以外の会員への対応、その為のカマラの体制や会員カテゴリや会費の見直し等多くの課題に正面から取り組み、関係各位のご尽力の賜物で多くの成果を上げることが出来たと考えます。

先ず 50 周年記念行事と致しましては、「感謝と挑戦」と題した創立 50 周年記念誌を無事 7 月に発刊する事が出来ました。ここにはペニャニエト大統領、安倍総理、日墨両経済大臣等の祝辞を頂いたのを始め、50 年の歴史の中で様々な形でカマラの発展に寄与して頂いた方々の寄稿やインタビューも掲載されている大変充実したものにすることが出来ました。既にご覧になった方も多いかと思いますが、カマラの歴史を知る上でも是非ご一読ください。

また安倍首相御来墨の記念行事として、7 月「産業クラブ」(Club de Industriales)にてビジネスセミナーを開催しグアハルド経済大臣に臨席頂き 400 名近い参加者を集めることができ、改めて日系企業のメキシコに於けるプレゼンスの向上に寄与できました。

カマラの体制見直しについては、既にカマラの会員の半分以上を占めるようになった首都圏以外の会員の方々への対応もより充実させる事が出来ました。2012 年創設の地方交流促進委員会は今年度も各地でセミナーを行いました。特に日系企業が集中するグアナフアト(GTO)州では今年本格的に支部を立ち上げて頂き四半期毎の例会など具体的な活動を開始して頂きました。またグアナフアト州に限らず首都圏以外の会員の要望に沿った活動をより緻密に行う為に、先ずバヒオのイラプアトにバヒオ支局を設置しました。今後この支局と DF の事務局で連携して、バヒオ地区に限らずメキシコ全土をカバーしたサービスを行う為に現在支局職員の人選に入っております。

またカマラの過半数を占める首都圏以外の会員の方が地方会員として選挙権・被選挙権もなくカマラの運営に直接関われない状況を打破すべく、12 月に特別総会を開かせて頂いて旧地方会員の方を全て正会員とする事をご承認頂きました。

今般 1 月の総会では、この業務報告と共に新たに正会員となった首都圏外の方々の会費をどうするかを予算案の承認との形で新たに正会員となった首都圏外会員の方も含めて審査、議決をして頂く事になります。

2015 年はいよいよ新たに正会員となった首都圏外の会員の方々と更に一体となり、引き続き会員が増え続けているカマラの活動を更に充実させ、本当に各会員のためになる活動を強化して行く年になると思ひます。

引き続き会員皆様のご理解とご協力をお願い致します。
<了>

[編集部注：カマラの HP：<http://www.japon.org.mx/jia/>。ただし一部の公開情報を除き、会員ページを開くためには会員のみに付与される「ユーザー名」と「パスワード」が必要です。]

レフォルマに並ぶ歴史⑦/最終回

～銅像でたどるメキシコ偉人案内～

[編集部注：メキシコで活躍している若人の力作その⑦をお届けします。残念ですが今回が最終回です。通常の旅行ガイドにも載っていない内容は本邦初紹介です。これであなたも“レフォルマ通”です。筆者は酒井さん(ペリカントラベルネットワーク課)です。存分にお楽しみください。]

メキシコ観光(メキシコ) 酒井梢恵



GENERAL DON IGNACIO LOPEZ RAYON
(地図中 22)

1773年、現在のミチョアカン州トラルプハウハという町に生まれた。バジャドリ市(現在のモレリア市)の神学校で勉強を始めるが、後にメキシコシティのSAN ILFONSO神学校で法学を専攻し弁護士の資格を得た。

1810年(独立戦争の始まる年)、彼が37歳の時、偶然にも独立戦争のリーダーの1人であるMiguel Hidalgo率いる軍隊に出くわし、独立革命軍の独立革命に向けた計画や意図に共感したIgnacio Lópezは、即座に入隊した。Hidalgoは彼を自らの秘書に任命し、独立戦争の中でも意義深いMonte de las Crucesの戦いに連れ添わせた。その年の12月、彼はミチョアカン州の知事となり、Hidalgoをはじめ

Allende や Aldama、Jiménez らと革命軍のリーダーたちの死の時まで、植民地政府との戦いを続けた。

最終的に彼は捕虜となり、1818年、メキシコシティにて収監された。1820年に恩赦を請い、晴れて自由の身となった。1821年の革命軍の勝利を受けて、彼は地元へ戻り、1823年から議員として活動を始め、1832年2月2日に3年間の捕虜時代に受けた怪我の後遺症でその生涯を終えた。

彼の独立戦争時の働きが評価され、現在、立法議会の壁に彼の名が金色の文字で刻まれている。



DON CARLOS MARIA BUSTAMANTE
(地図中 32)

1774年11月4日オアハカに生まれ、孤児として育ちながら、12歳の時に地元のSAN AGUSTIN修道会でラテン語文法と神学の勉強をする機会を得た。

その後メキシコシティの SAN PABLO 神学校に住み込みで通い、1801年に学位を取得し、同年、スペイン王室公聴会の報道記者となる。その経験を活かし、1805年には自らも編集や記者の役割を担う **EL DIARIO DE MEXICO*** という新聞社を立ち上げ才覚を發揮した。

[*文中に登場した新聞 **EL DIARIO DE MEXICO** は、メキシコ初の日刊紙であり、現在でも発行が続いている。庶民の情報へのアクセスの容易化は、メキシコ都市部での識字率の向上のほか、混血国家でありインディヘナが各地域や民族ごとに独自の言語を話していたこのメキシコで、国家形成の必要条件である言語の統一にも貢献していることから彼の功績は大きいと言えるのではないかと。]

Bustamante が新聞編集者・記者という立場で活躍を始めたころ、時代はメキシコ独立戦争(1810～1821年)へと突入していく。その流れの中で Bustamante も 1812年、独立戦争のリーダーの1人である José María Morelos に才を買われ、オアハカで騎兵隊の隊長の役に任ぜられた。

その後 1813年に Moleros によりゲレロ州の州都チルパンシンゴで「チルパンシンゴ議会」が召集され、彼は「独立宣言」と Moleros の独立宣言スピーチ起草という大役を任されたのであった。



<チルパンシンゴ議会>

独立への戦いが佳境へ向かう中、Bustamante は既にイギリスから独立を達成していたアメリカ合衆国へ救援を求めに行くよう軍司令官によって命じられた。アメリカから情報を得て帰路についたところ、メキシコ植民地政府によって捕らえられてしまう。1817年3月に恩赦を請い、イギリスの軍艦に乗って逃げる機会を得たが、再び捕らえられてしまう。

しかし、彼はアメリカの独立戦争に関する歴史がしたためられた5冊のノートと船員に預け、任務を全うしたのであった。捕らえられた Bustamante は、現在でも観光地として有名なベラクルスの San Juan de Ulua 要塞に 1819年2月まで収監されることになったが、彼の勇敢な行いが独立達成への大きな後押しになったことは疑いようがない。

【チルパンシンゴ議会 1813年9～11月】

Moleros 管轄地域の代表たちにより「**国民意識** (*Sentimientos de la Nación*)」という文書を元に議会が進められた。

<国民意識>

- ・スペイン本国からの独立
- ・行政、立法、司法の各機関の設置
- ・植民地政府による寡頭政治や朝貢制度の廃止
- ・個人財産権の尊重
- ・奴隷制/人種分離/差別的呼称の廃止など

☆参照：

http://es.wikipedia.org/wiki/Jos%C3%A9_Mar%C3%ADa_Morelos

メキシコの独立達成後、彼は地元のオアハカへ戻り議員としての活動の傍ら、1848年9月21日にその生涯を終えるまで執筆活動も精力的に行い、彼の歴史家としての一面は、多くの当時の情報を後世に伝えることとなった。

<完結>

[編集部注：本シリーズは本誌第16号(2013年10月)より連載が始まり、メキシコ観光メキシコ・オフィスの山内勇志さんと酒井梢恵さんがお忙しい業務の間を縫って共同執筆して下さいました。編集部よりも重ねてお礼を申し上げます。最終回を執筆された酒井さんから寄せられたメッセージを下記にご紹介します。読者の皆様もメキシコへの旅行の際には同社を訪ね、「旧交」を温める機会として下さい。

『今回が最終回となるレフォルマに立ち並ぶ銅像の記事でしたが、皆さんがテーマを設定された意図の通り、普段何気なく前を通っているに過ぎなかったものをきちんと調べていくことで、一般の日本人が触れるメキシコの歴史のより深いところを知ることができ、またメキシコという国・国民がどういった動きの中で現在の姿を形成してきたのかということが見えてきました。

また当時の人々だけでなく、現代メキシコで生活をして様々な恩恵を受けている私たちにまで、回りまわって影響を与えている人々の存在に気づくことができました。この度は貴重な機会を与えていただけましたこと、感謝申し上げます。』

こちらこそありがとうございました。ご健康に留意されてますますご活躍されることをお祈りします。]

あとがき：今年メキシコ・日本アミーゴ会の発足15周年です。鴻巣副会長に「誕生の秘話」の寄稿をお願いしました。本誌も会員の交流誌として各位のご支援を得て魅力ある誌面づくりに努めたく存じます。本誌既刊号はすべてアミーゴ会のHP (<http://www.mex-jpn-amigo.org/>) で公開しています。3月に新駐日大使カルロス・フェルナンド・アルマダ(Carlos Fernando Almada)氏の任命が上院で承認されました。[か20150404]